

さきたま

埼玉県鍼灸師会は厚生労働大臣免許保有者でつくる県内唯一の「はり師」及び「きゅう師」専門の公益社団法人です。

第181号

平成31年1月1日
発行

公益社団法人 埼玉県鍼灸師会
会長 河原保裕

事務所

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-3-1
第2大矢部ビル 2F東

TEL 048-645-0416

HPアドレス <http://saitama.harikyu.or.jp>

事務所メールアドレス saishinkai@gold.ocn.ne.jp

(広報委員長) 大谷尚子

(編集委員長) 阿部 琴美

行事予定表

- 1月
20日(日) 第2回臨床研・鍼灸普及推進講座・
第2回療養費等適正運用研修会
27日(日) 療養費等適正運用個別指導会
27日(日) 第3回学術講習会
- 2月
24日(日) 療養費等適正運用個別指導会

平成30年度 第1回臨床研修会・第2回学術講習会報告

平成30年11月18日(日)に埼玉医科大学かわごえクリニック6F大会議室において第1回臨床研究会と第2回学術講習会をおこないました。

第1回臨床研究会では、埼玉県鍼灸師会学術委員の小峰拓也先生による「アキレス腱、踵骨周囲のスポーツ障害に対する鍼治療とテーピングの活用」を実技も交えてご講演いただきました。

第2回学術講習会では、埼玉医科大学 脳神経内科 教授診療部長 山元敏正先生による「パーキンソン病の病態と薬物療法の最新知見」の演題のご講演と、京都府立医科大学 助教 建部陽嗣先生による「ファッシアから見た経絡-閃めく経絡について-」のお話と「パーキンソン病に対する鍼治療」を実技も交えてご講演いただきました。

北は北海道、南は鹿児島から多くの先生方にご参加いただきました。



山元敏正先生



建部陽嗣先生



小峰拓也先生

平成30年度 第2回臨床研・鍼灸普及推進講座・ 第2回療養費等適正運用研修会

日時:平成30年1月20日(日)
場所:清水園
さいたま市大宮区東町2丁目204
TEL 048(643)1234

●第2回臨床研(午前10時30分~12時)
演題:「顔面神経麻痺に対する鍼灸治療の実際」
講師:埼玉医科大学東洋医学科 堀部豪先生
参加費:無料(※埼玉会会員及び育成学生のみ参加となります)

●鍼灸普及推進講座(午後2時~午後3時30分(午後1時45分開場))
講演:「鍼灸医療の課題と未来~私がコンサルだったらお伝えすること~」
講師:田原真紀氏

プロフィール
ワシントン州立大学卒。・メディカル マーケティング コンサルタント日本栄養精神医学研究会(会長:奥平智之) 事務局長・P&Gにて、台所用洗剤ジョイを業界No.1に導くと共に、需要予測チームの日本代表も務める。・ソフトバンク、孫正義氏の側近としてソフトバンクモバイルの躍進に貢献(マーケティング戦略統括部長)。・2008年のiPhone日本導入のプロジェクトリーダー。現在は、健康における食や栄養の重要性について、普及活動を行うドクターや教育者のマーケティング活動を支援。

参加費:無料

●第2回療養費等適正運用研修会(午後3時45分~午後5時15分)
上記研修会は連続して欠席されますと、次回研修会又は補講に出席されない限りは当会を通じて療養費等の申請ができなくなります。会員に限らず実務担当者の方が代理で参加されても有効ですので、ぜひ多くの方の出席をお待ちしております。

また、講習当日は「保険取扱い要覧」をご持参いただきますようお願い致します。

内容:・受領委任制度について
・DKシステムについて
・記入上の注意事項

参加費:無料



埼玉鍼灸学会主催 学術講習会 (平成30年度第3回埼玉県鍼灸師会学術講習会)のお知らせ

日時:平成31年1月27日(日)
午後1時~(受付開始 午後0時30分)
会場:埼玉医科大学 かわごえクリニック 6階 大会議室

テーマ:小俣浩先生の功績から鍼灸治療の科学化を考える
講演:

「小俣浩先生の功績から学ぶこと」
(午後1時~午後2時30分)
埼玉医科大学東洋医学科 講師 山口智 先生
東大医学部附属病院リハビリテーション部鍼灸部門 主任 粕谷大智先生
筑波大学理療科教員養成施設 講師 徳竹忠司先生

「排尿障害に対する鍼灸治療の効果と基礎的検討」
(午後2時40分~午後3時40分)
宝塚医療大学鍼灸学科 教授 北小路博司先生

「慢性腎臓病の病態と治療戦略」~小俣先生と取り組んだ仕事~
(午後3時50分~午後4時50分)
武蔵野徳洲会病院 院長、
埼玉医科大学 名誉教授 鈴木洋通先生

参加費:埼玉県鍼灸師会会員2,000円、育成学生500円、
会員の従業員3000円、埼玉鍼灸学会会員2,000円、
(公社)全日本鍼灸学会会員3,000円、一般5,000円、
一般学生1,000円

連絡先:埼玉鍼灸学会事務局 菊池友和 堀部豪
TEL 049-276-2108
E-mail toyoinfo@saitama-med.ac.jp

※本講習会は(公財)東洋療法研修試験財団・生涯教育研修制度認定講習会(3単位)です。

※(公社)全日本鍼灸学会の認定研修会(認定ポイント3点)です。



旬の食べ物を食べて元気になるう!

今回の旬の食べ物は「生姜(しょうが)」です。

普段スーパーなどで見かける生姜は一般的に「根生姜」と言われ、約一年かけて根の部分の塊にして、収穫・貯蔵するものです。日本では秋口が収穫期ですが、寒さが厳しく風邪をひきやすい今の時期にピッタリということで今回の旬の食べ物に選びました。もう一つ有名な「新生姜」と言われるものは、夏に収穫され甘酢漬けなどにされる赤い茎の部分がついている生姜をさしますが、今回は「根生姜」について…。

生姜には「①ジンゲロール②ジンゲロン③ショウガオール」という成分が含まれているのが特徴で、その三つを合わせて「生姜三大成分」といわれています。

まず①ジンゲロールは生の生姜のスパイシーな辛みのもとの成分です。血管を拡張させて血流をよくするので冷え性・血行不良からくる肩こりや頭痛・むくみの改善に効果的です。強い殺菌作用もあるので食中毒の予防としても使われます。

このジンゲロールを加熱や乾燥させるとジンゲロンとショウガオールに変化します。②ジンゲロンは香りの成分の一つで、中枢神経を刺激し、エネルギー代謝を促す効果があります。強い発汗作用が特徴です。③ショウガオールには痛みの原因のホルモンを抑える効果があるので、喉の痛みや咳の緩和にはもってこいです。

生の生姜は熱を生み出す作用がありますが、この時の熱は手足を中心に生まれるため、体の中心は冷えてしまいます…。なので、冬の寒い時期に体の中からぽかぽかとなるためには生姜をスライスして乾燥生姜にしたり、温かい料理に加えて加熱したりすればいいのです。

年が明けて寒さも更に厳しくなります。生姜スープや生姜湯など、美味しく生姜を食べて寒い冬を元気に乗り越えましょう!!



協賛各社
(順不同)

医道の日本社・ホシノ医療機器株式会社・ヨシダ商事・アフラック募集代理店 株式会社むらた・カナケン・セイリン株式会社・昭和エンタープライズ・ソーシンメディック